

令和4年5月
地域力支援研修



「誰も一人ぼっちにしない、
誰も排除しないまち」
SDGs × 阪南市

地域力支援研修

～ポストコロナの暮らしを考える～

ポストコロナの地域づくり（地域運営組織について）

令和4年5月

阪南市 政策共創室

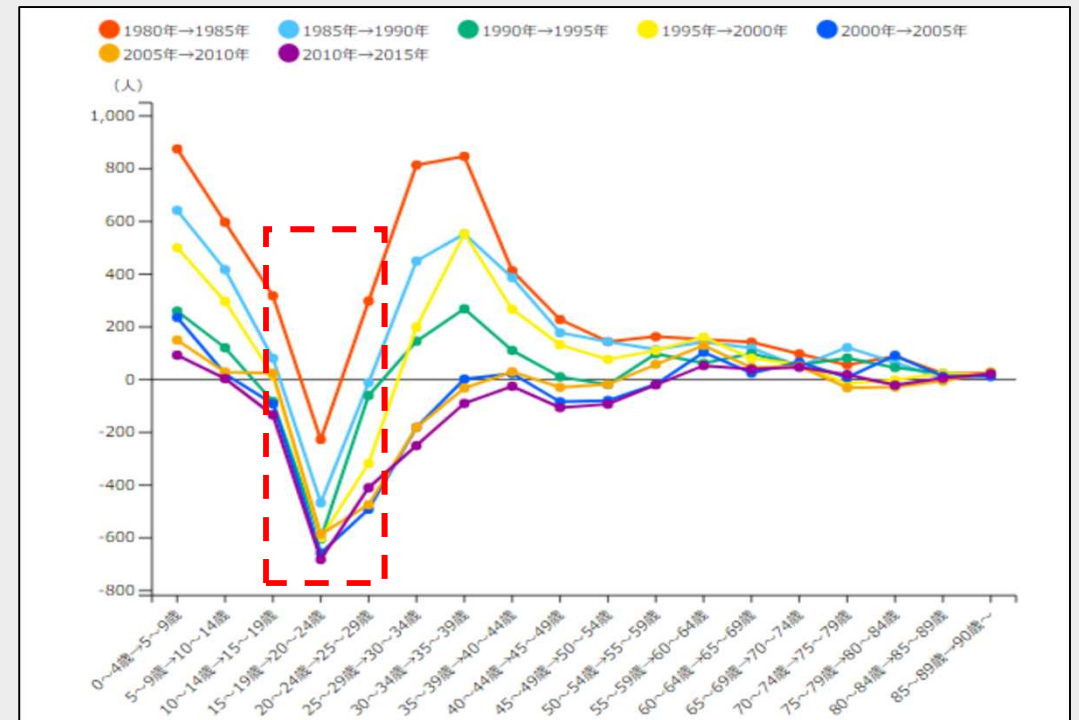
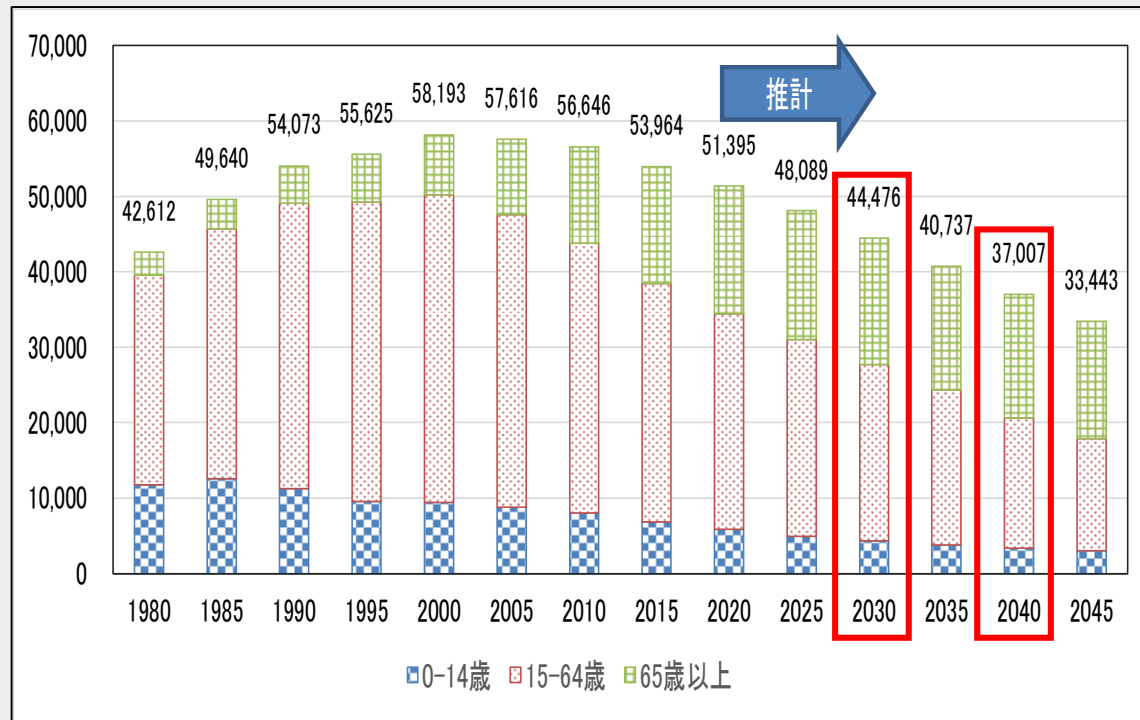


阪南市

I-1. 様々な調査からみえる本市の課題

【人口】

- ・2030年には、44,476人、2040年には37,007人まで減少
- ・2025年の高齢化率は、35.4%
- ・10代後半～20代前半は流出傾向



I-2. 様々な調査からみえる本市の課題

人口



人口減少や少子高齢化が進むと・・・どうなるの？



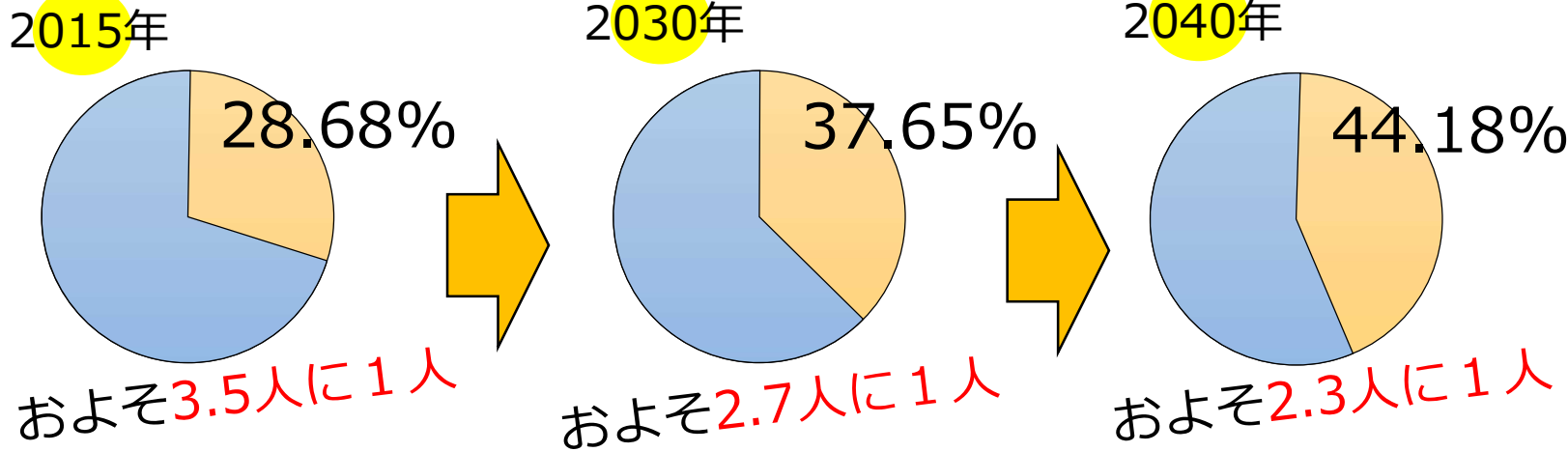
例えば・・・

働く人の数が減ったり

お店の数が減ったり

65歳以上の人口割合

65歳以上 65歳未満



※ 2015年：国勢調査結果 2030年&2040年：国立社会保障・人口問題研究所の推計

I-3. 様々な調査からみえる本市の課題

65歳以上 独居世帯



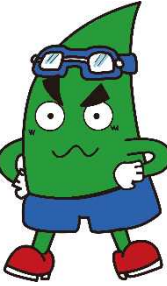
65歳以上 夫婦世帯



自治会加入率



ひとり暮らしの高齢者世帯が増えているよ



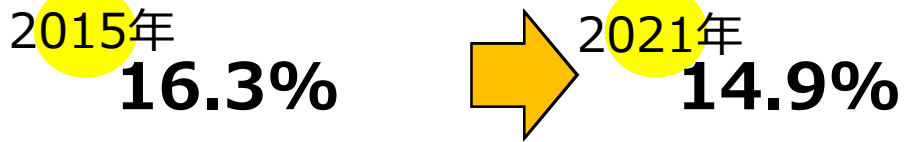
地域力（互助）の低下

地域活動の担い手の減少し、地域コミュニティの維持が困難

- ※65歳以上独居世帯・夫婦世帯：国勢調査結果
- ※自治会加入率：政策共創室調査

I-4. 様々な調査からみえる本市の課題

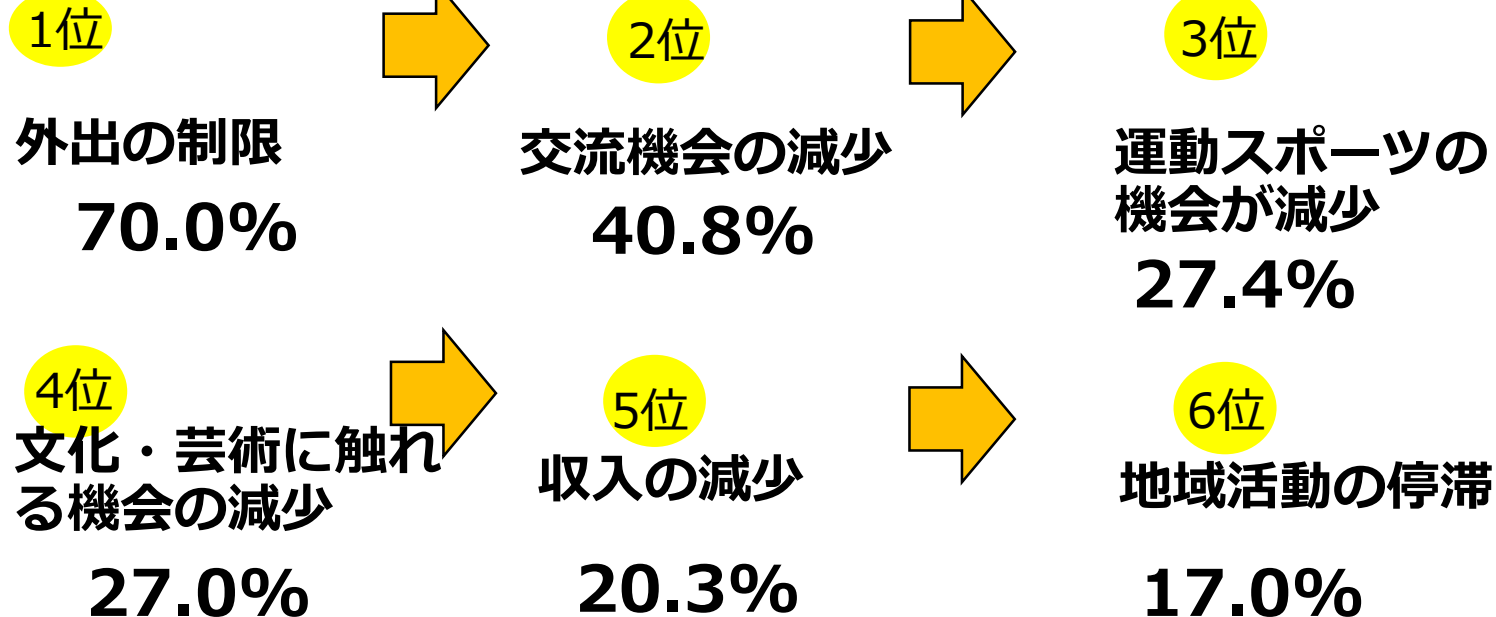
ご近所づきあいについて（相談できる・簡単な頼み事）



ご近所づきあいも少なくなっ
てきているよ



新型コロナウイルス感染症の影響について（複数回答）



さらなる地域力
（互助）の低下

例えば、「独居高齢者」「8050
問題」「子育て支援」「生活困
窮」「認知症」などの課題が増加。

※阪南市共生のまちづくりに関する
アンケート調査（令和3年9月）

Ⅱ.取組の方向性

□ 人と人がつながる仕組みづくり

- ・意思決定 みんなで考える
- ・活動形態 自発的に、できること／やりたいことを楽しく行う
- ・秩序形成 自律

⇒ プラットフォームが大事

Ⅲ.具体的な取組方策

令和4年度

- 地域運営組織の推進と「(仮)地域まちづくり協議会条例」の制定に向けての取り組み
- 電子回覧板の推進
- 地域別で「地域力支援研修」を開催 (令和4年6月・8月・10月)

参考. 将来のビジョン

ONE ACTION

 ~時代の 1 歩先をゆくまち~



市民一人ひとりが1歩踏み出すことで、未来が形づくられ、やがて太い幹となるまち

多世代にわたって
つながりのある
コミュニティ

さまざまな人が
活躍する
生涯現役のまち

わがごと化できる
地域プレイヤー
による地域創造

価値観（キーワード）

活発、共創、継承、社会的包摂、持続可能、自発、多様性（=ダイバーシティ）、創造性・先進性、チャレンジ

協働のなかでも、新しい価値や事業などの創造・構築段階から協働で
取り組む

共創：コクリエーション
(Co-creation)

市民と行政が地域に根差して活動や事業を進めていく

協働：パートナーシップ
(Partnership)

参 考

阪南市におけるデジタル田園都市国家構想推進交付金の活用について

1. 地域DX推進事業（政策共創室）

総事業費：2,620千円

【事業概要】

阪南市では、急速にデジタル化が進む中、誰一人取り残されることなくすべての人がデジタル化のメリットを享受でき、地域の課題解決や市民生活の質的向上を図るため、新しい生活様式への対応、働き方改革、教育、健康、介護、医療、地域交通体系などのあらゆる分野でICT等の新技術を活用したまちづくりとして、スマートシティを推進しています。

地域のDXを含めたデジタル化を推進するため、以下の事業に取り組みます。

①自治会連合会等の地域団体が、新しい生活様式を取り入れながら感染防止と地域活動の両立を図ることができるよう、本市と自治会連合会等の地域団体及び事業者との協定を締結し、5地区程度のモデル地区において、スマートフォンやタブレットを活用した「地域デジタル支援アプリ」である電子回覧板（連絡網機能、グループウェア機能、地域情報配信機能等）を導入します。

②地域デジタル支援アプリでは対応できないオンライン会議などについて、コロナ禍においても市民活動が発見にできるよう、市民活動・地域交流の拠点や市民活動のコーディネーター役を担う地域交流館（市民活動センター含む）にオンラインやリモートで活動（例えば、市民活動の会議やイベント、井戸端会議、市民活動のコーディネート等）ができる環境を整備します。

【事業イメージ】

地域DXの推進でつながる「まちづくり」

～「人がつながり、地域がつながる共創のまち」の実現に向けて～

